

重点領域 国土交通技術会議提言(H17.4.21)		今後の方向性		再編等(青字) 表現の修正(青字) 新規(赤字)	国土交通省技術基本計画 (技術研究開発の具体的な方向性)	
防災・安全	地震・噴火・洪水等の被害を軽減する	1.	地震・津波・火山の被害軽減()	← 災害種別等に分割	地震や津波、風水害、火山噴火、雪害等の災害による被害を大幅に軽減する	
		2.	水害・土砂災害の被害軽減()			
		3.	避難誘導・復旧の迅速化()			
	交通事故・テロ等から国民を守る	4.	陸・海・空の交通事故防止及び軽減()	← 健全度診断、長寿命化を明記	有害科学物質や流出油事故による海洋汚染などの脅威から守る	
		5.	犯罪やテロを予防する()			
基盤再生・革新	ストックを診断、解体、再生する	6.	健全度診断、長寿命化による既存ストックの有効活用()	↓ 「環境」に移行	社会資本・交通機関の維持管理のコスト縮減などのストック有効活用	
		7.	効率的で環境負荷の小さい解体手法			
	基盤の高度化による競争力、海洋利活用	8.	社会資本・交通機関整備のコスト縮減()		← 統合	物流コストの削減とサービスの多様化、及び都市再生による国際競争力の確保
		9.	交通サービスをもっと便利で快適にする()			
		10.	都市・物流の国際競争力を確保する()			
		11.	国際的な競争力維持のための国際基準・標準の策定()			
		12.	海洋と宇宙の開発と利用()			
		13.	誰もが参画できるユニバーサル社会を実現する()			
環境	環境負荷の小さい地域社会を形成する	14.	資源の使用量と廃棄物を減らし、循環型社会を構築する()	← 地球温暖化を移行	省エネ化、代替エネルギーの利用、物流の効率化の推進などのエネルギーの効率的な利用により、地球温暖化を抑制する	
		15.	省エネ化、代替エネルギーの利用、物流の効率化の推進などのエネルギーの効率的な利用()			
	都市環境・自然環境を再生・創造する	16.	大気汚染、騒音、振動やヒートアイランド現象を緩和するなど、生活環境を改善する()		↓ 「安全」から移行	地球環境問題などの人類共通の課題へ参画・貢献する
		17.	生態系を守り、自然共生、自然再生・創造する()			
		18.	有害化学物質や流出油事故による大気・海洋環境の保全()			
		19.	地球環境問題への貢献()			
		20.	街なみや自然風景などを美しく再生・保全・創造する()			
				← 地球地図などの地球環境に関する国際貢献を統合	国際貢献	
					まちづくりをはじめとする社会資本・交通機関の整備に際して、老若男女いろいろな国民の意見が一層反映されるようにする	

(参考)『科学技術基本計画策定の基本方針 別紙2』の個別政策目標例(全48項目)中、国土交通省に関連するもの(16項目)

- (4) 地球温暖化・エネルギー問題の克服
 - 世界で取組む地球観測と正確な気候変動予測と影響評価の実現
 - 温暖化ガスを効果的に排出削減する技術の実用化
 - 世界を先導する省エネルギー社会の実現
 - 世界で利用される新たな環境調和型のエネルギー供給の実現
 - 水素利用社会に向けた燃料電池の本格導入
- (5) 環境と調和する循環型社会の実現
 - 我が国発のバイオマス利用技術による生物資源の有効利用

- 3R(発生抑制・再利用・リサイクル)による資源の有効利用と廃棄物の削減
- 持続可能な生態系の保全と利用
- 健全な水循環と持続可能な水利用
- 環境と調和する化学物質のリスク管理
- (8) 科学技術により世界を勝ち抜く産業競争力の強化
- 国際競争力ある航空・宇宙利用・海洋利用技術の実現
- (10) 誰もが元気に暮らせる社会の実現
- 年齢や障害に関係なく楽しめるユニバーサル生活空間・社会環境の実現

- (11) 国土と社会の安全確保
 - 災害に強い新たな減災・防災技術の実用化
 - 既存のインフラや建物を活かした安全で調和のとれた国土・都市の実現
 - 安全で快適な新しい交通・輸送システムを構築
 - 各種テロを予防・抑止するための新たな対応技術の実用化